

### 令和3年度までに採用された「若手の職員」へのインタビュー

~石川労働局総務課人事係 作成~

# ≪労働基準監督官 編≫

# 問1. 数多ある就職先候補の中から、何故、労働局を選んだの?

- ・働く中で生じるトラブルや困難に立ち向い、その解決を図る手助けをしたいと思ったから。また、<u>説明会に参加した際に雰囲気が良かったこと</u>が印象的だったから。
- 大学やアルバイトでの経験を経て、労働問題に関心を持ったから。
- ・監督・安全衛生・労災と多岐にわたる職務があり、自分の能力を監督官として様々な場面で生かせるのではないかと思ったから。
- ・霞ヶ関オープンゼミで初めて労働基準監督官というものを知り、<u>いろいろな現場に行き、実情</u> 知り、職場環境の対策改善に関与することがとても魅力的だったから。



- ・労働者の立場の弱さから、労働問題は労使だけではなかなか解決できるものではないと感じ、監督官の仕事の意義深さを思い志望しました。
- ・きっかけは過労死関連のニュースをよく見かけたこと、欧米と日本の労働環境の違いを知り、残業は当たり前のものではないと気付いたことです。労働環境を改善する仕事はないのか調べた際に、労働基準監督官を見つけ志望しました。

### 問2-1. 労働局に入って「良かったなぁ」と感じたのはどんなとき(こと)?

- 相談者や申告人から感謝されたとき。 有給休暇を取得しやすいこと。
- ・相談者の期待されていることに応えられないことも多いが、こちらの説明に対し前向きに対応してもらい状況改善が図れたとき。
- 様々な業種の事業主(代表者)や労働者と直接話ができ、世間の状況がつぶさに肌で感じられる

こと。

- ・生活を支える基盤の「労働」に関わる相談を受けることは大変だが、<u>頼りにされていると実感し</u>たとき。残業が無い点。
- 監督指導の際は、普段見ることができない様々な設備や機械を間近で見ることができること。

### 問2-2. 労働局に入って「大変だなぁ、不満だなぁ」と感じたのはどんなとき(こと)?

- ・ 全国区の転勤があること。
- ・相談業務では、単に話を聞くのではなく、相談者が何を求めているのか、その求めに対して私たちはどのような対応が可能なのかを常に考えながら適切な説明をしなければなりません。複雑な事案に対しては、署内の文献等を確認し、それでもわからない場合は、上司や先輩に質問するようにしています。皆さんに優しく丁寧に教えていただきながら対応しています。



# ≪厚生労働事務官(一般職) 編≫

#### 問1. 数多ある就職先候補の中から、何故、労働局を選んだの?

- ・職に就くことができない方々が大勢おられるため、その方々の力になりたいと思ったから。
- ・<u>人とかかわる機会が多い仕事</u>をしたいと考えていたから。また、説明会での職員の方々の接し方がとても丁寧だったことに魅力を感じたから。
- ・民間の就職活動を終えた友人の多くが第一希望の企業に就職することが出来ず、事業者と求職者のマッチングの難しさを感じ、新卒者の就職支援をしたいと思ったことをきっかけに労働行政に興味が湧いたから。
- ・就職に関して自分自身も不安を感じていた面があり、同じように<u>不安を抱えている求職者の力に</u> なりたいと思ったから。
- 困っている人たちを支援する仕事だと思い、やりがいを感じられると思ったから。



- ・大学のゼミで労働経済を専攻し、労働行政に興味があったから。様々な官庁訪問をした際に、 国民と直接関わる職場だと聞いて、自分の力を役立てるのに最適な職場だと思ったから。
- ・一生のうちに行う意思決定のなかで、一人ひとりの自己実現にかかる職業選択は大変重要である と学生時代の経験から感じ、労働局の職員としてサポートしたいと思ったため。
- ・子育てと仕事を両立できる、働きやすい職場であることに魅力を感じたため。
- ・公務にはいろいろ業務はあるが、ハローワークでは仕事を探している方に<u>「就職」という目に</u> <u>見える形で直接的な支援ができる</u>から。
- ・高齢化が進行している中、働きたくても働くことができない高齢者がいることを知り、事業主 の方へ高齢者採用のメリットを伝えることで、高齢者雇用を促進していきたいと思ったから。
- ・障害者やひとり親世帯など、困っている方の自立を直接支援できるところに魅力を感じたため。



### 問2-1. 労働局に入って「良かったなぁ」と感じたのはどんなとき(こと)?

- ・<u>職場の方々が親身になって指導してくださる方ばかり</u>で、安心して仕事ができています。また、 対応した後に利用者の方から「ありがとう」と仰っていただけることも、労働局に入ってよかっ たと思える点の一つです。
- ・<u>職場の雰囲気の良さ</u>、労働時間の適切な管理によって<u>非常に働きやすい職場環境</u>が整備されていること。
- ・失敗しても上司や先輩がフォローしてくれ、改善方法を一緒に考えてくれること。
- ・<u>休暇の取得がしやすいこと</u>や<u>残業が少ないこと</u>など、労働環境が良く、<u>プライベートの時間も十分</u> 確保できること。
- ・窓口業務を通じ、<u>利用者に感謝されること</u>もあり自分の努力が報われ、<u>とてもやりがいがある職場</u>だと感じたこと。



- ・仕事を任され、「新規学卒者向け合同説明会」を開催したとき、多くの利用者の参加を受け、数か 月の苦労が報われたとき。準備過程でも上司や先輩と改善策を協議し合い、これが結実し効果が 出たとき。
- ・<u>在職者・退職者・企業など様々な方との関わりがあり</u>、多くの経験を積むことができることで、 自分自身の成長につながる機会が多い環境であること。
- ・雇用保険窓口で来所者サービスの提供がうまくいき感謝されたとき。
- 「分かりやすかった」や「ありがとう」と感謝されるという貴重な体験ができること。
- ・担当は雇用保険ですが、就職が決定した方から「ありがとう」と言っていただけたこと。



# 問2-2. 労働局に入って「大変だなぁ、不満だなぁ」と感じたのはどんなとき(こと)?

- 新規採用職員の人数が少ないので、職場に若手が少数な点。
- ・現在、雇用保険係として勤務していますが、失業給付金の受給についてやその他の制度等について、 利用者の方々にしっかりと理解してもらえるように伝えることの難しさを日々感じています。



